

科目名	まつり実践実習 I	科目分類	<input checked="" type="checkbox"/> 専門科目群 (第1グループ) <input type="checkbox"/> 総合科目群 (第2グループ)	
			観光学科	<input type="checkbox"/> 必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択
英文表記	Practice and Training of Festival I	開講年次	<input checked="" type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年	
ふりがな	いのうえ ひろし	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中	
担当者名	井上 寛	修得単位	2単位	
授業のテーマ	竿燈まつりに出場しよう			
授業概要	国の重要無形民俗文化財に指定されている「竿燈」の歴史を学び、差し手、囃子(笛・太鼓)、かけ声を練習し、技をみがいたうえで、8月3日～6日の竿燈まつりに出場します。			
到達目標	竿燈の練習やまつり本番の演技を通じて、伝統文化を守り続ける重要性を理解する。			
授業時間外の学習	経験や知識がなくても基礎から指導しますので大丈夫です。科目の性質上、上達するには授業時間外での練習が必要になることがあります。上達の状況によっては、竿燈まつり本番に参加できないことがあります。			
履修条件	女子学生は囃子(笛、太鼓)に、男子学生は差し手、囃子のどちらにも参加できます。なお、伝統文化を継承する観点からも、ふさわしくない整容(茶髪など)の学生やマナーの守れない学生は受講を認めません。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション/竿燈まつりの歴史と概要	第17回	竿燈まつり本番の準備作業1	
第2回	竿燈まつりの練習1(短大体育館)	第18回	竿燈まつり本番の準備作業2	
第3回	竿燈まつりの練習2(短大体育館)	第19回	竿燈まつりへの参加1-1	
第4回	竿燈まつりの練習3(短大体育館)	第20回	竿燈まつりへの参加1-2(1日目)	
第5回	竿燈まつりの練習4(短大体育館)	第21回	竿燈まつりへの参加1-3(1日目)	
第6回	竿燈まつりの練習5(短大体育館)	第22回	竿燈まつりへの参加2-1(2日目)	
第7回	竿燈まつりの練習6(短大体育館)	第23回	竿燈まつりへの参加2-2(2日目)	
第8回	竿燈まつりの練習7(短大体育館)	第24回	竿燈まつりへの参加2-3(2日目)	
第9回	竿燈まつりの練習8(短大体育館)	第25回	竿燈まつりへの参加3-1(3日目)	
第10回	竿燈まつりの練習9(短大体育館)	第26回	竿燈まつりへの参加3-2(3日目)	
第11回	竿燈まつりの練習10(短大体育館)	第27回	竿燈まつりへの参加3-3(3日目)	
第12回	竿燈まつりの練習11(短大体育館)	第28回	竿燈まつりへの参加4-1(4日目)	
第13回	竿燈まつりの練習12(短大体育館)	第29回	竿燈まつりへの参加4-2(4日目)	
第14回	竿燈まつりの練習13(短大体育館)	第30回	竿燈まつりへの参加4-3(4日目)	
第15回	竿燈まつりの練習14(短大体育館)	第31回	竿燈まつりへ本番後片付け作業	
第16回	実技試験			
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。			
参考文献・資料	秋田市竿燈会「竿燈ができるまで一竹の準備、親竹、横竹、継竹のつくり方、竿の組み立て方」			
成績評価の方法	竿燈まつりへの参加(40%)、実技試験(30%)、平常点(30%)で総合評価します。			
成績評価基準	【平成27年度(2015)以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度(2016)以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			
オフィスアワー	① 毎週月曜 10:40～12:10 ②毎週金曜 13:00～14:30			
学生へのメッセージ	観光学科に開講されている科目ですが、学科間履修することで、経済学科、法律学科の学生も履修できます。ぜひ参加してください。			

